町成人式

７２人が大人の仲間入り

二十歳の門出を祝う成人式が、一月三日（木）町中央公民館大ホールで開催され、成人を迎えた五十九名が参加しました。

式典では、町長をはじめ議長、青年団長から祝辞や激励があり、新成人を代表して下市克幸さんと東千恵美さんが「成人としての責任を深く胸に刻み、頑張りたいと思います。」と二十歳を迎えた決意を述べられ、二十一世紀を担う一員としての自覚を新たにしました。その後、恩師からのビデオレターでは、当時の思い出や作文が紹介されるたびに懐かしむ歓喜につつまれていました。

このほか、成人者から、記念品として演台が贈られました。なお、贈られた演台は現在中央公民館の大ホールで使用されております。

今回の成人式では、保護者の参加も多く、振袖や背広姿の成長した子どもたちを写真撮影する風景も多く見られました。

全員で記念撮影

決意を発表した下市さん㊨と東さん㊧

川薩地区葉たばこ種まき

順調な発芽を願って

１月２８日(月)，柏原の共同育苗施設で葉たばこの種まきが行われ，地区内から生産者をはじめ関係者約６０人が参加しました。

この日は肌寒い天候でしたが，葉たばこ耕作組合理事のあいさつ後，施設内に用意された苗床に関係者が種をまく作業が行われました。種をまいたものは，町内の１４戸の農家をはじめ，川薩地区１市７町の生産者に配布され，地区内で８８ha（町内では１８ha）が栽培されます。

関係者による種まき作業

文化財を守ろう

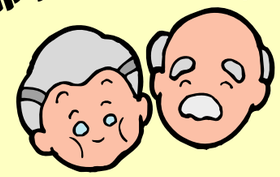
野母毛（のもげ）神社で放水訓練

神社に向けて放水する分団員

文化財防火デーの１月２６日（土），柏原の野母毛神社で放水訓練が行われました。

毎年，この日に町内の神社で文化財の防火対策会議などが行われていますが，放水をしたのは今回が初めてです。訓練は，野焼きの火が神社に飛び移ったことを想定し，柏原分団の迅速な放水で，裏の杉山への延焼を食い止めました。その後，柏原区公民館で，防火対策会議が行われ，見回りの強化や文化財周辺での禁煙などの対策を協議しました。

高齢者とのふれあい活動



紫尾小学校

もぐら打ち棒作り もぐら打ちが楽しみです

高齢者に教えてもらいました

一月十一日（金）、紫尾小学校で「もぐら打ち棒作り」が行われました。

これは、伝統行事の継承と、高齢者とのふれあいを目的として、二十数年前から地区内の高齢者の指導で行われています。三・四時間目を利用して、各家庭からワラと芯になる棒を持参した児童四十五人は、高齢者の方に教えてもらいながら作成しました。

作成前には、高齢者を代表して柳田純行さんからもぐら打ちの説明があり「紫尾小学校では貴重な体験ができます。みなさんの後世にも伝えてもらいたいです。」とあいさつがありました。今年初めて作るという一年生の瀬戸口優花さんは「うまくできてよかったです。もぐら打ちをするのも初めてだけど楽しみです。」と感想を話しました。

鶴田中学校

竹ぼうき作り 楽しく作りました

楽しく話しながら作りました

一月十八日(金)、鶴田中学校でふれあい竹ぼうきづくりが行われました。これは、高齢者とふれあうことを目的として行われているもので、今年で二十回目を迎えます。

昨年から、町内の七十歳以上の方に年賀状を出して呼びかけをしており、今年は二十人の参加がありました。はじめに高齢者を代表して東郷公子さんが「ほうきは、小さな穂先を寄せ合ってできていま す。今日は心と心を寄せ合い、楽しく語りながら作りましょう。」とあいさつ。材料は、生徒が各家庭から持参し、高齢者の手伝いで楽しく話しながら竹ぼうきを完成させました。一年生の大園貴大君は、「初めて作りました。穂先の組み合わせが難しかったけど、おばあちゃんに手伝ってもらってうまくできあがりました。」と話しました。

完成したほうきは約百五十本で学校内の清掃で使われます。